

ホームヘルパー(障害者(児)居宅介護従業者、障害者(児)移動支援従業者ほか)

仕事の内容

ホームヘルパーは、心身に障害のある人の自宅を訪問し、生活援助や身体介護のサービスを行います。食事作りや洗濯・掃除・買い物等を行うほか、食事・入浴・排泄の介助や生活全般に関わる相談・支援を行います。

ヘルパーは、外出の際に必要な様々な支援を行います。支援の内容は、食事・排泄などの身体介護や、情報の整理や伝達などのコミュニケーション支援、危険を予測・回避することが困難な場合はその安全確保など、幅広いものとなっています。

障害のために一人で外出することが難しくても、ヘルパーとともに出かけることで、障害者本人の自己選択や自己決定の機会が増え、自立や社会参加が進むとともに、地域における障害者への理解が深まることも期待されます。



ある1日を振り返ると

ホームヘルパーは利用者の状況や予定にあわせて支援を行います。また、支援の内容もそれぞれの利用者によって異なります。実際にどんな仕事をしているのかについて、ひとつの例を紹介します。



知的障害のあるIさんとのお出かけ(移動支援)

Iくんは重度の知的障害を伴う自閉症の男の子。

今日はIくんの好きな電車に乗って動物園へ。今まで出来なかった切符の買い方、今日は1人で買えるか挑戦です。お金の価値はまだ分からないけど、何度も教えるうちに「改札を通る前に、切符を買う」ことが理解できるようになりました。

電車でのIくんは人一倍楽しそう。動物園でも、興味のあるもの・ないものがハッキリ分かります。Iくんが何に興味を持つのか、見守り発見する事も大切なヘルパーの仕事。「今日はこんな事をしましたよ。」そう伝えると、お母さんが驚く事も少なくありません。

親御さんがいない場で社会のルールを教えること。親御さんの知らなかった一面を発見すること。親御さんの心境を理解しながら、Iくんの将来を考え目標を持って支援していくこと。そして自分自身も楽しむこと。

これらを通して、Iくんの成長・変化を見守っていきたいと思います。

⇒ホームヘルパー・ガイドヘルパーになるためには.....

資格

Qualification

障害者自立支援法による訪問系のサービスには、居宅介護、重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援と、地域生活支援事業のひとつのメニューである移動支援事業があります。

ホームヘルパーの求人の多くは、資格要件として「介護福祉士」や「ホームヘルパー養成研修」を修了していることが求められています。なお、移動支援従事者の求人は、現在のところ単独で出されることは少なく、職種としては「ホームヘルパー」として募集され、業務内容に移動支援が含まれるという場合がほとんどです。

障害分野のホームヘルパー養成研修については、67ページを参照してください。